

(3) ライフサイクルコストの低減
Ⅲ③環境と調和した施設への転換

低騒音効果のある高機能舗装の実施による
交通騒音の低減

阪神高速道路公団

舗装改良工事

【施策の概要】

低騒音効果のある高機能舗装（以下「高機能舗装」という。）は、通常の舗装にくらべて内部に空隙が多くできるようにつくられた舗装です。自動車のタイヤと路面の接触により生じる騒音は、タイヤと路面に挟まれた空気が圧縮されて開放される時に生じますが（エアポンピング音）、高機能舗装では圧縮された空気が舗装内の空隙に逃げるために音が生じにくく、この騒音を低減する効果があります。

阪神高速道路公団では、住宅地を通過する区間等において、高機能舗装への打換え工事を、平成12年度までで16km実施しました。

高機能舗装の実施は、沿道環境を改善するという面から、社会的な利益に貢献するものです。

【施策のポイント】

- ・高機能舗装の実施により、3dB程度の自動車騒音の低減が図れます。
- ・高機能舗装は、内部に空隙が多くできるようにつくられた舗装であるため、雨水が路面下に素早く排水され、耐水が少なく、走行性や視認性が向上する効果もあります。
- ・耐久性（わだち掘れのでき難さ、アスファルトと骨材の剥離の起こり難さ）についても、通常の舗装にくらべて一般的に高いとされています。

【施策のイメージ図】

